

# 初の女性教育委員誕生

## 女学院の授業料アップ可決

臨時市議会が一月十四日開かれ、教育委員の任命同意(四人)と市立大篠女学院の入学手数料及び授業料徴収条例の一部を改正する議案が提案され、いずれも原案通り可決されました。

教育委員の定数は五人。今回任期満了三人、欠員一人の計四人が改選されたもので、新しく教育委員に選任された人は藤本茂樹氏(六十三歳)・再、鈴江広幸氏(六十歳)・再、国沢守道氏(五十九歳)・新、西森律氏(五十九歳)・新の四人。現教育委員長の藤本氏、現教育委員の鈴江氏は共に再任。新任の国沢氏は前助役、西森氏は市連合婦人

会長を務める主婦で、市制始めて以来初の女性教育委員の誕生となりました。

また、経営難で存続が危ぶまれていた市立大篠女学院は、昨年十一月末に開かれた「大篠女学院運営適正化審議会」(高石文一会長ら七人)の答申に基づき、存続するための方法として今回提案されたもの。

今回の改正は①入学手数料を一万円(現行五千円)、市外生は二万円(六千円)にアップ。②高等部、大学部、専攻部、実業部を廃止して、新たに洋裁科、和裁科、編物料、専攻研究科を設置し授業料をそれぞれ月額八千円(五千五百円)にアップしました。適用は新年度入学生からで、二月中旬ごろから生徒募集が始まります。



授業料がアップされた大篠女学院

日に開き、任期満了に伴う委員長、教育長の互選を行いました。

この結果、委員長に藤本茂樹氏、教育長に鈴江広幸氏がそれぞれ再選されました。

### 藤本教育委員長の略歴



大正九年五月生まれ、六十三歳。高知工業学校機械科を卒業して会社勤務後兵役。昭和二十七年から鉄工所を経営。四十六年十二月から教育委員、五十三年八月から教育委員長。現住所は田村二一四八九番地。



### 国沢教育委員の略歴

大正十三年八月生まれ、五十九歳。長岡高等小学校卒。昭和十七年旧長岡村役場から旧後免町役場を経て市産課課長、補佐監、教育次長などを歴任。五十二年十二月から五十八年六月まで助役。現在、土佐清風閣長。現住所は廿枝一八五四番地の一。

### 西森教育委員の略歴



大正十三年三月生まれ、五十九歳。県立青年学校教員養成所卒。昭和二十一年高岡郡長者村立長者中学校教諭を皮切りに長岡郡分良村立分良中学校教諭などを歴任し、三十六年八月退職。五十二年四月から広報委員。五十五年四月から社会教育委員。現住所は後免町三丁目四番六号。



### 鈴江教育長の略歴

大正十二年三月生まれ、六十七歳。県立青年学校教員養成所卒。四十四年から香美教育事務所長、野市中学校長、県教委義務教育課長などを歴任。五十八年四月から教育長。現住所は大浦甲二〇七〇番地。

### 委員長に藤本氏 鈴江教育長も再任

市教育委員会は、新たな委員の任命を受けた後の初会を一月十六

### 後免地区 市政懇談会

南国市の中心地であり、商店街の発展などに悩む後免町で一月十七日、地区公民館に住民三十五人が集まって市政懇談会が行われました。市からは小笠原市長、浜田助役、関係課長らが出席し、地区のかかえる身近な問題から市政全般にわたって、約二時間半熱心に話し合いました。

### 後免野田小改築 百周年の62年をめどに

まず市長が、市政報告と三選後の行政目標の柱について考えを述べ、あらかじめ準備会を開いて取りまとめてあった質問事項に沿って討議に入りました。

#### 討議内容は...

□後免野田小の改築は、校下民一同の切望するところですが、見直しはいつごろに。また古くなった講堂も含めた改築も考えて欲しい。

■今まで危険校舎の指定を受けていなかった中央校舎も、このほど危険校舎に認められ、早い改築が望まれるところだ。

しかし、現在急がれている稲生小、十市小、大篠小が六十年でまじかる予定ですので、創立百周年を迎える六十二年間に合うようなかたちで検討しています。

講堂についてもやらなければならぬと思いますが、まずは校舎を済ませてからと考えています。

□南国市は税金が高いのでは。

■市民税については、五十四年から標準税率にしていますので、決して高くはありません。

■固定資産税は、標準税率百分の一・四に対し、南国市と須崎市が百分の一・六となっており少し高くなっています。今後は、市の財政事情を考えて下げていけるよう努力したいと思っています。

□開発公社への借金は総額いくら



商店街の発展に苦慮する後免町

で利子は年どれくらいになるか。その負債の解消はどういう計画で進めていくのか。

■昨年三月現在、二十一億三千万円の借金があり、利息は年一億八千万円になっています。その返済は、年二億円の計画で進めていますが、今最も急がれているのは比江山の残地処分であり、有利な処分に全力をあげていきたいと思っています。

□四月には岡豊高校が開校するので、後免から岡豊高、医大へのパスの便の誘致を考えて欲しい。

■市が積極的に補助金を出して誘致する考えはありませんが、現在土電が開校を目ざし準備中とのこと。また医大への延長も計画しているようですが、その時期ははっきりしていません。

□市への物品納入や建設工事など、地元を優先に考えて欲しい。

■税金を有効に使うためには、やはり、安くても良いものを」と考えており、市内業者を最優先する訳にもいきません。しかし、建設業については、かなり市内業者を優先に進めています。

□国道一九五号と商店街のラッシュ時の交通渋滞はひどい。何か良い方法はないか。

■現在考えているのは、大津バイパスから東道路に入り都計道路南園―山田線から国道に接続し、町

を通らず高知、山田間の車を流したい。そのため、国鉄長岡踏切りから都計道路までの幅幅を急ぎたいと思っています。

□後免町は五十七年に新しい住居表示となったが、当分の間は旧町名を残して行政も対応して欲しい。

■市としては、新しい住居表示で行う方が都合が良いが、連絡などで混乱が起こるといふ町内会の意見を尊重し、昔のままで行っています。

□市の福祉予算はどのくらいか。生活保護を受けると、それが当然のようになってしまう、一部では勤労意欲を失なわせてしまっているのではないかと懸念。保護家庭の調査はどのように行っているのか。

■約二十八億円です。生活保護の認定については、国の基準に基づき、必要性を調査した上で決定しています。保護を受けてからは、担当員が随時訪問して実態を調べ、本人も収入申告書を出しています。また毎月一回の支給日には、事務所で担当員が面接し、その情態を把握しています。

■窪川成生公民館長の話  
直接市の執行部と身近に話し合うことによって、もっと行政に関心の主旨が、達成できたと思今日満足です。